

岡山
く
り
ん

No.55
2017.1

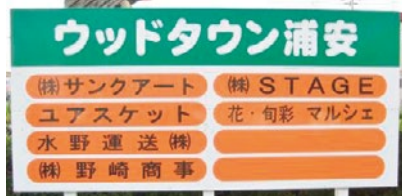


緑のリサイクル

産業廃棄物から一般廃棄物まで木くず、剪定枝、草の処理なら当社にお任せください。



営業品目 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業
木材チップ生産事業 緑化資材事業
不動産事業 保険代理業



TAMANO LIFOS GROUP タマタイ産業株式会社

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町 2-1-25

TEL(086)224-3291 FAX(086)223-6354

URL <http://www.tamatai.com>

E-mail tamatai@po4.oninet.ne.jp

金川工場 〒709-2134 岡山市北区御津下田 450

TEL(086)724-0115FAX(086)724-2694

E-mail tamakana@citrus.ocn.ne.jp

建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田 1425

TEL(086)722-3865FAX(086)722-3459

E-mail tamatake@po5.oninet.ne.jp

太陽光発電

↑ ウッドタウン浦安 岡山市南区浦安本町 85-2



宮崎県えびの市大字原田字中野 1258-3 外5筆

グループ企業



ライフオス株式会社(旧：玉野耐火礦業株式会社)

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町 2-1-25

TEL(086)224-3217FAX(086)224-3310

木材事業

上月工場 〒679-5503 兵庫県佐用郡佐用町本郷 201-36

TEL(0790)87-0208FAX(0790)87-0225

松永工場 〒729-0105 広島県福山市南松永町 4 丁目 7-50

TEL(084)933-5592FAX(084)933-5593

岡山チップセンター 〒702-8045 岡山市南区海岸通 2 丁目 6-1

TEL(086)264-2158FAX(086)264-2170

ガス事業

玉野営業所 〒706-0141 玉野市槌ヶ原 1289

TEL(0863)71-0133FAX(0863)71-0134

東岡山工場 〒703-8214 岡山市東区鉄 145

TEL(086)279-0149FAX(086)279-5971



住宅展示場

プレステージ城東 センターハウス

〒703-8222 岡山県岡山市中区下 126-1

TEL(086)279-8844FAX(086)279-8845

◆年頭あいさつ◆

優良認定業者の推進に取り組む！ 一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 会長 大塚 雅司	2
持続可能で安心して暮らせる循環型社会へ 岡山県環境文化部 部長 大本 裕志	3
低炭素・循環型都市の実現に向けて 岡山市環境局 局長 山上 晃稔	4
新年のごあいさつ ～災害廃棄物と水銀廃棄物の処理について～ 倉敷市環境リサイクル局 局長 加藤 博敏	5
平成29年年頭所感 公益社団法人全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫	6

◆行政ニュース◆

大気汚染防止法の改正 水銀大気排出規制への準備が必要です！	7
産廃の違法運搬を食い止める！ 抜き打ち検査を実施しています	9
岡山県エコ製品・岡山エコ事業所認定制度をご紹介します	10
期限が迫る高濃度PCB廃棄物処理	11
水銀汚染防止法等に関する説明会の開催について	12

◆特集◆

「第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会」を終えて	13
全国産業廃棄物連合会青年部協議会 第7回カンファレンス (in Okayama)	16
女性部「e-Lady21のつどい」に参加して	17

◆事業報告◆

平成28年度視察研修会に参加して	19
------------------	----

◆支部ニュース◆

岡山西支部・岡山中央支部合同環境クリーン作戦	21
東備支部環境クリーン作戦実施	23
第23回倉敷地域環境クリーン作戦	24
井笠支部環境クリーン作戦	25
備北支部環境クリーン作戦報告記	26
第22回津山地区環境クリーン作戦	27

◆青年部会のページ◆

平成28年度青年部会視察研修会を開催する	28
----------------------	----

◆会員紹介ページ◆

アサヒブリテック株式会社岡山営業所	29
-------------------	----

◆事務局だより◆

「平成29年度労働災害防止計画」の概要	30
報告・新規入会者の紹介	32
表紙写真ガイド／編集後記	33



優良認定業者の推進に取り組む!

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 会長 大塚 雅司



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、5月の総会で役員任期調整を承認いただき、新たに2年間の任期で現役員が務めさせて頂くこととなりました。また、11月の全国大会では、会員の皆様をはじめ、全国各地から650名を超える方が岡山にお越しいただきありがとうございました。また、関連行事として開催された青年部カンファレンスや女性部e-Lady21のつどいにも多くの皆様にご参加いただき、全国大会を盛り上げていただき、心より感謝申し上げます。

さて、産業廃棄物取り巻く環境は、適正処理の時代から資源循環の時代に移り、我々業界も単に廃棄物を処理するサービス業ではなく、再生資源を社会に送り出す製造者として変わっていかねばなりません。しかし一方では、廃棄物の不適正処理の事案は後を絶たず、我々業界のイメージダウンにつながっています。廃棄物の適正処理の確保は、我々業界の基本的な使命であることを再認識し、会員の資質の向上に努めていかねばなりません。中でも、優良業者認定の取得は、循環型社会・低炭素型社会の形成にも寄与することから、業界全体で取り組むことで大きな成果に繋がると考えています。当協会においても重点事業として取り組んできており、今後、一層推進して参りたいと考えています。

また、昨年も災害の多い年でした。4月の熊本地震、10月の鳥取県中部地震など身近なところで災害が発生し、岡山県においても、いつ・どこで災害が起こっても不思議ではない時代になりました。災害廃棄物の処理は、法改正により協会が自治体の委託先となる体制が整いました。当協会においても、県及び市町村と連携し、実効性のある処理体制を築いていきたいと考えていますので、会員皆様のご理解とご協力をお願いします。

今年は、廃棄物処理法の見直しの年にあたります。(公社)全国産業廃棄物連合会では、我々業界が適正処理と資源循環のプロフェッショナルとして、地域や社会に貢献できるよう環境省と協議していますので、当協会としても、これを見守り、期待したいと存じます。

終りになりますが、我々業界の今後益々の発展と協会員の皆様のご健康・ご健勝、また関係各位のさらなるご指導・ご鞭撻をお願いするとともに、この一年が皆様にとりまして、素晴らしい年でありませうお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

持続可能で安心して暮らせる循環型社会へ

岡山県環境文化部 部長 大本 裕志



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の廃棄物行政に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会は、設立以来これまで、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に係る研修会の開催などの各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業や環境学習事業など、幅広い活動に熱心に取り組まれており、深く敬意を表しますとともに、去年は、「第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会」が、岡山の地で盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、廃棄物処理法は、これまでに累次に改正が行われておりますが、平成22年改正法の施行から5年が経過したことから、国が法の見直しを行っており、排出事業者責任の一層の徹底、優良な循環産業の更なる育成の推進などを論点に議論が進められているところであります。

本県におきましても、これまで、平成27年度を目標年とする第3次岡山県廃棄物処理計画に基づき、廃棄物排出量の減量化やリサイクルの促進などに、数値目標を掲げて取り組んできたところですが、岡山県災害廃棄物処理計画の策定や小型家電リサイクル法の制定などの状況変化も踏まえ、現在、平成32年度を目標年とした第4次計画の策定を進めております。

第4次計画では、食品ロスの削減や災害廃棄物の適正かつ円滑・迅速な処理をはじめとした新たな取組とともに、家電類のリサイクルや再生品等の普及など、これまでの取組も拡充させ、標題にも掲げていますとおり、「持続可能で安心して暮らせる循環型社会へ」を副題とし、循環型社会への転換を一層加速できるものとして今年度中の策定を目指しているところです。

県といたしましては、計画で掲げた施策の推進、設定した目標の達成に向け、汗をかき取り組んでまいり所存ですが、廃棄物の適正処理はもとより、循環型社会の形成の推進に関しましては、豊富な経験や人材を有する貴協会と会員皆様方の御協力が不可欠でありますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会と会員皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

低炭素・循環型都市の実現に向けて

岡山市環境局 局長 山上 晃稔



平成29年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様には、日頃から本市の廃棄物行政へのご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれましては、廃棄物適正処理の推進、業界の指導・育成、さらには関連事業の一層の発展にご尽力いただき、そのご努力と熱意に心から敬意を表します。

さて、昨年は国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で採択された新たな法的枠組みである「パリ協定」が発効される等、国際的にもより一層環境意識が高まっています。今後は、国、自治体等においても、温室効果ガス排出削減への具体的な取組みが必要となり、より効果的な環境政策を実施していくことが求められています。

本市では、多様で豊かな環境を生かす環境先進都市の実現をめざして「低炭素・循環型社会の構築」を主要政策の一つと位置づけており、この実現には、市民、事業者、行政が一体となって、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの4Rの推進に取組み、廃棄物の削減を図ることが重要です。

なお、本市では「バイオ燃料地域利用事業」において、使用済み天ぷら油のリサイクルを実施しており、使用済み天ぷら油の資源化物回収や、回収した天ぷら油から製造された軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料を使用することにより、廃棄物の減量、化石燃料の使用削減及び温室効果ガス排出削減に寄与しているところです。

また、昨年開催されたG7伊勢志摩サミットにおいて、国は、開催により生じた温室効果ガス排出量をゼロにするカーボン・オフセット（相殺）を実施しました。これはG7サミットでは初の試みです。本市は「バイオ燃料地域利用事業」により取得したJ-クレジット（温室効果ガス排出権）を国に提供し、この先進的な環境に配慮した取組みに参加しました。

皆様には、これまでも廃棄物の低減や再資源化をはじめとした多くの施策に多大なご協力をいただいているところでありますが、今後とも、低炭素・循環型都市の実現に向けてご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ ～災害廃棄物と水銀廃棄物の処理について～

倉敷市環境リサイクル局 局長 加藤 博敏



平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会におかれましては、産業廃棄物の適正処理やリサイクルの推進はもとより、業界関係者の指導・育成や普及・啓発などの様々な活動を通じて循環型社会の形成の推進に御尽力されており、心から敬意を表します。また、貴協会並びに会員の皆様におかれましては、平

素から倉敷市の産業廃棄物行政に対し、格別なる御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災から間もなく6年が経過することとなり、昨年4月に発生した熊本地震、10月に発生した鳥取県中部地震においても多くの被害が発生したことは記憶に新しいところです。将来発生が予測されている南海トラフ大地震等の大規模災害時には倉敷市においても相当規模の被害が発生することが懸念されておりますが、衛生環境の悪化及び災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐためには、災害廃棄物を円滑かつ迅速に処理することが重要になります。

これに関連して、平成27年に廃棄物処理法が一部改正され、災害により生じた廃棄物を円滑・迅速に処理していくため、国・地方公共団体・民間事業者の連携・協力の責務が明確化されました。倉敷市においても、倉敷市災害廃棄物処理計画の策定を進めているところです。災害廃棄物は法的区分上、一般廃棄物に分類されるものの、がれきなど性状としては産業廃棄物に近いものがその多くを占めています。そのため、災害時には産業廃棄物の処理を担われている処理事業者の皆様のご協力が不可欠と考えています。

次に、水銀廃棄物に関して、平成25年10月に熊本市及び水俣市で外交会議が開かれ、「水銀に関する水俣条約」が採択されました。これに伴い、関係法令が整備され、水銀を含む廃棄物の適正処理が求められるようになりました。倉敷市においても、薬局・薬店において一般家庭で使用されていた水銀式の体温計・温度計・血圧計の拠点回収を環境省のモデル事業として実施したところです。また、水銀含有産業廃棄物の処理についても、新たな基準が設けられ、より一層の注意が必要となります。

災害廃棄物や水銀廃棄物の処理に限らず、本市の施策を進めていくには貴協会並びに会員の皆様方の御理解と御協力が不可欠でございますので、昨年引き続き御理解と御協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、並びに御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成29年年頭所感

公益社団法人全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫



明けましておめでとうございます。旧年中は、当連合会の諸事業に皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ちょうど1年ほど前に、廃棄食品の不正転売事件が発覚し、本業界にとっての平成28年は、大変厳しい状況の中でのスタートとなりました。

当連合会は、この事件を産業廃棄物処理業への信頼を失墜させかねない極めて深刻な問題であると受け止め、国及び全国の都道府県協会と連携し、再発防止のための啓発活動や、排出事業者向けの「実地確認チェックリスト」の策定等に取り組みました。

「実地確認チェックリスト」は、廃棄食品の肥料化等を委託している排出事業者が、委託先の産業廃棄物処理業者の施設を訪問し、その処理の状況を確認する際に活用していただくためのもので、昨年10月に完成しました。このような事件が再び繰り返されないよう、引き続き業界を挙げて再発防止に取り組んで参る所存でございます。

また、昨年は、廃棄物処理法の5年ごとの点検・見直しの時期に当たる重要な年でありました。当連合会は、産業廃棄物処理業の振興と規制の合理化の観点で、平成27年度の約1年間をかけて次期法改正の議論を重ね、この成果を意見書の形に取りまとめて昨年3月末に環境省へ提出しました。その後、中央環境審議会に設置された廃棄物処理制度専門委員会に委員を派遣するなど、業界要望の実現に向けて関係方面へ強く働きかけているところです。

この廃棄物処理法の見直しと並行する形で、本業界の振興策を検討するためのタスクフォースを前年度に引き続き設置し、振興法等の立法化を目指して議論を進めています。具体的には、業界振興のための法案大綱といったものを検討しており、本年の秋頃までにはある程度の姿を示したいと考えています。

さらに、人材育成も大きな課題です。本業界は中小零細企業が多いことから、自社独自の取り組みにはおのずと限界があり、人材育成が十分に行われているとは言えないという問題を抱えています。当連合会は、昨年度に続き今年度も産業廃棄物処理業における人材育成方策調査検討業務を環境省より受託し、従業員の能力開発等の人材育成方策、さらには資格制度の創設等について検討しております。

このほか、労働安全衛生の向上や低炭素社会の構築など、「環境を守り、産業を支える」資源循環の産業として様々な課題に取り組み、本業界が国民の皆様の一層のご理解と信頼を得ることができますよう、なお一層努めて参る所存でございます。皆様のご指導・ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

最後になりますが、この1年が皆様にとりまして、すばらしい年でありますようお祈り致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

～ 廃棄物焼却設備の設置者の皆様へ～

大気汚染防止法の改正

水銀大気排出規制への準備が必要です！

「水銀に関する水俣条約」の的確な実施を確保するため、大気汚染防止法が改正され、水銀排出施設に係る届出制度や、水銀排出施設から水銀等を大気中に排出する者（水銀排出者）への排出基準の遵守義務等が導入されました。

水銀大気排出規制の概要

○ 水銀排出者（水銀排出施設から水銀等を大気中に排出する者）

① 水銀排出施設の設置の届出

→ 水銀排出施設（石炭火力発電所、産業用石炭燃焼ボイラー、非鉄金属製造施設、**廃棄物焼却設備**、セメントクリンカー製造施設）の設置・構造等を変更しようとする場合、都道府県知事等に事前の届出をしなければなりません。※届出者は、届出受理日から60日を経過した後でなければ、設置・構造等を変更してはなりません（実施制限）

→ 施行時点で既に施設を設置している者は、施行日から30日以内の届出が必要です。

② 排出基準の遵守 → 水銀排出施設に係る排出基準を遵守しなければなりません。

③ 水銀濃度の測定 → 水銀排出施設に係る水銀濃度を測定し、その結果を記録し、保存しなければなりません。

○ 要排出抑制施設の設置者

要排出抑制施設（製鉄用の焼結炉（ペレット焼成炉を含む。）と製鋼用の電気炉）の設置者は、排出抑制のための自主的取組として、自ら遵守すべき基準の作成、水銀濃度の測定・記録・保存等を行うとともにその実施状況及び評価を公表しなければなりません。

水銀排出施設（廃棄物焼却設備の場合）

区 分	大気汚染防止法 の水銀排出施設	施設の規模・要件 (以下のいずれかに該当するもの)	排出基準(注1) $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$	
			新規施設	既存施設 (注2)
廃棄物の 焼却設備	廃棄物焼却炉（一般廃棄物/ 産業廃棄物/下水汚泥焼却炉）	●火格子面積 2 m^2 以上 ●焼却能力 $200\text{ kg}/\text{時}$ 以上	30	50
	水銀含有汚泥等の焼却炉等	●水銀回収義務付け産業廃棄物(注3) 又は水銀含有再生資源(注4)を取り 扱う施設(加熱工程を含む施設に 限る。) 《施設規模による裾切りはなし》	50	100

(注1) 既存施設であっても、水銀排出量の増加を伴う大幅な改修（施設規模が5割以上増加する構造変更）をした場合は、新規施設の排出基準が適用されます。

(注2) 施行日において既に設置されている施設（設置の工事が着手されているものを含む。）

(注3) 水銀回収義務付け産業廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令で規定されています。

(注4) 水銀含有再生資源は、水銀による環境の汚染の防止に関する法律で規定されています。

水銀排出施設の設置等の届出

次の場合は、県知事（岡山市、倉敷市又は新見市内の場合は各市長）に届出が必要です。

根拠条文	届出が必要なとき	届出時期	届出書
法第18条の23	水銀排出施設を設置しようとするとき	工事着手の60日前まで	水銀排出施設設置 (使用、変更)届出書
法第18条の24	法施行時に、既に水銀排出施設に該当するものを設置しているとき	法施行日から30日以内	

(注) 施設の構造等を変更した場合には、変更届出書が必要になります。

排出ガス中の水銀測定方法

○ 測定対象

全水銀（ガス状水銀及び粒子状水銀）

○ 測定頻度

- ・ 排出ガス量が4万Nm³/時以上の施設：4か月を超えない作業期間ごとに1回以上
- ・ 排出ガス量が4万Nm³/時未満の施設：6か月を超えない作業期間ごとに1回以上
- ・ 専ら銅、鉛、亜鉛の硫化鉱を原料とする乾燥炉、専ら廃鉛蓄電池又は廃はんだを原料とする溶解炉：年1回以上

○ 測定結果の確認方法

- ・ 測定結果は、平常時における平均的な排出状況を捉えたものか、適切に確認する必要があります。

< 排出基準を上回る濃度が検出された場合 >

水銀排出施設の稼働条件を一定に保った上で、速やかに3回以上の再測定（試料採取を含む）を実施し、初回の測定結果を含めた計4回以上の測定結果のうち、最大値及び最小値を除く全ての測定結果の平均値により評価します。

※再測定は、初回の測定結果が排出基準の1.5倍を超過していたときは、初回測定結果が得られた後から30日以内、それ以外の場合は60日以内に実施して結果を得てください。

※測定結果は全て記録・保管しておいてください（再測定を実施した場合は、最大値及び最小値も含む）。

※再測定後の評価でも排出基準値を上回る場合は、関係自治体に連絡するとともに、原因究明を行い、再発防止措置をとってください。

施行期日

- 平成30年4月1日（水俣条約の発効がこれ以降となる場合は、条約発効日）

お問い合わせ

- 岡山県 環境文化部 環境管理課 TEL：086-226-7302（直通） FAX：086-224-2147

※岡山市、倉敷市又は新見市内の事業者の方は、各市役所環境担当課にお問い合わせください。

産廃の違法運搬を食い止める！ 抜き打ち検査を実施しています

1 取組の概要

県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、排出事業者の県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。

この制度により、産業廃棄物の適正処理の確保や県外からの産業廃棄物の流入実態の把握などを行っていますが、依然として事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合等を行っています。

2 路上検査の結果

平成28年は路上検査を2回実施しました。

第1回は県単独で、第2回は岡山市及び倉敷市と合同で実施しました。

(1) 第1回 (H28. 5.31～6. 3、県内3ヶ所で実施)

	岡山県
停車指示車両数	50台
うち産廃関係車両数	21台
うち指導台数	3台

(2) 第2回 (H28.10. 6～10.26、県内5ヶ所で実施 岡山市及び倉敷市と合同で実施)

	岡山県	岡山市	倉敷市	合計
停車指示車両数	41台	10台	10台	61台
うち産廃関係車両数	12台	6台	2台	20台
うち指導台数	10台	2台	1台	13台

3 今後の取組等について

- ・ 特に多い違反事項は、許可証の写しの不携行、マニフェストの不携行や記載不備、車両への表示義務違反です。すぐに改善できますので、この機会に確認をお願いします。
- ・ また、産業廃棄物を産業廃棄物でないと思いこみ運搬するケースも散見されます。
契約締結時などの機会をとらえて排出事業者からよく内容を聞いたり、産業廃棄物の各担当窓口で確認すれば防げる場合がありますので、こうした確認を徹底していただき法令違反を問われる事態を回避してください。
- ・ 産業廃棄物の不適正処理は、生活環境に大きな影響を与えかねない問題です。
本県では、今後とも効果的な路上検査の実施により快適な生活環境の確保に努めていきます。



岡山県マスコット
「ももっち」

岡山県エコ製品・岡山エコ事業所 認定制度をご紹介します



岡山県マスコット
「うらっち」

県では、循環型社会の形成に向け、使用を促進すべきリサイクル製品を「岡山県エコ製品」、環境にやさしい取組を行っている企業を「岡山エコ事業所」として認定しています。

岡山県エコ製品

県内で製造・販売されており、使用を促進すべきものとして県が定める基準を満たしたリサイクル製品を認定しています。

- 認定製品には、包装やパンフレットなどに、認定マークを使用することができます。
- 県は、認定製品の優先使用に努めるとともに、イベント、ホームページ等により、県民のみなさんへの積極的な利用を働きかけています。



<認定時期>

毎年2回行っています。(1～6月申請分を8月、7～12月申請分を2月)
認定の有効期間は5年間です。

<認定基準>

①循環資源(廃棄物)の使用率 ②品質に係る基準 ③安全性の基準 ④その他
認定基準は品目によって異なります。詳細はお問い合わせください。

岡山エコ事業所

事業場から発生する廃棄物の発生抑制やリサイクル等(ゼロエミッション)、再生品の使用促進などに積極的に取り組んでいる事業所を認定しています。

○認定事業所の区分は次の3種類です。

- ・ゼロエミッションを推進している **ゼロエミッション事業所**
- ・再生品を使用する立場でグリーン調達を推進している **一般事業所**
- ・再生品を販売する立場でグリーン調達を推進している **小売店**

○県は、認定された企業の取組を、イベント、ホームページ等により、県民や事業者のみなさんに対し、環境にやさしい企業として積極的にPRします。

<認定時期>

随時受け付けています。認定の有効期間は5年間です。

<認定基準>

認定基準は事業所の区分によって異なります。詳細はお問い合わせください。

県内の企業のみなさんのご応募をお待ちしています。

岡山県環境文化循環型社会推進課 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

TEL: 086-226-7306 FAX: 086-224-2271 E-mail: junkan@pref.okayama.lg.jp

◎「岡山県エコ製品」や「岡山エコ事業所」をご紹介します。

http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/junkan/eco_seihin28/index.html

期限が迫る高濃度PCB廃棄物処理

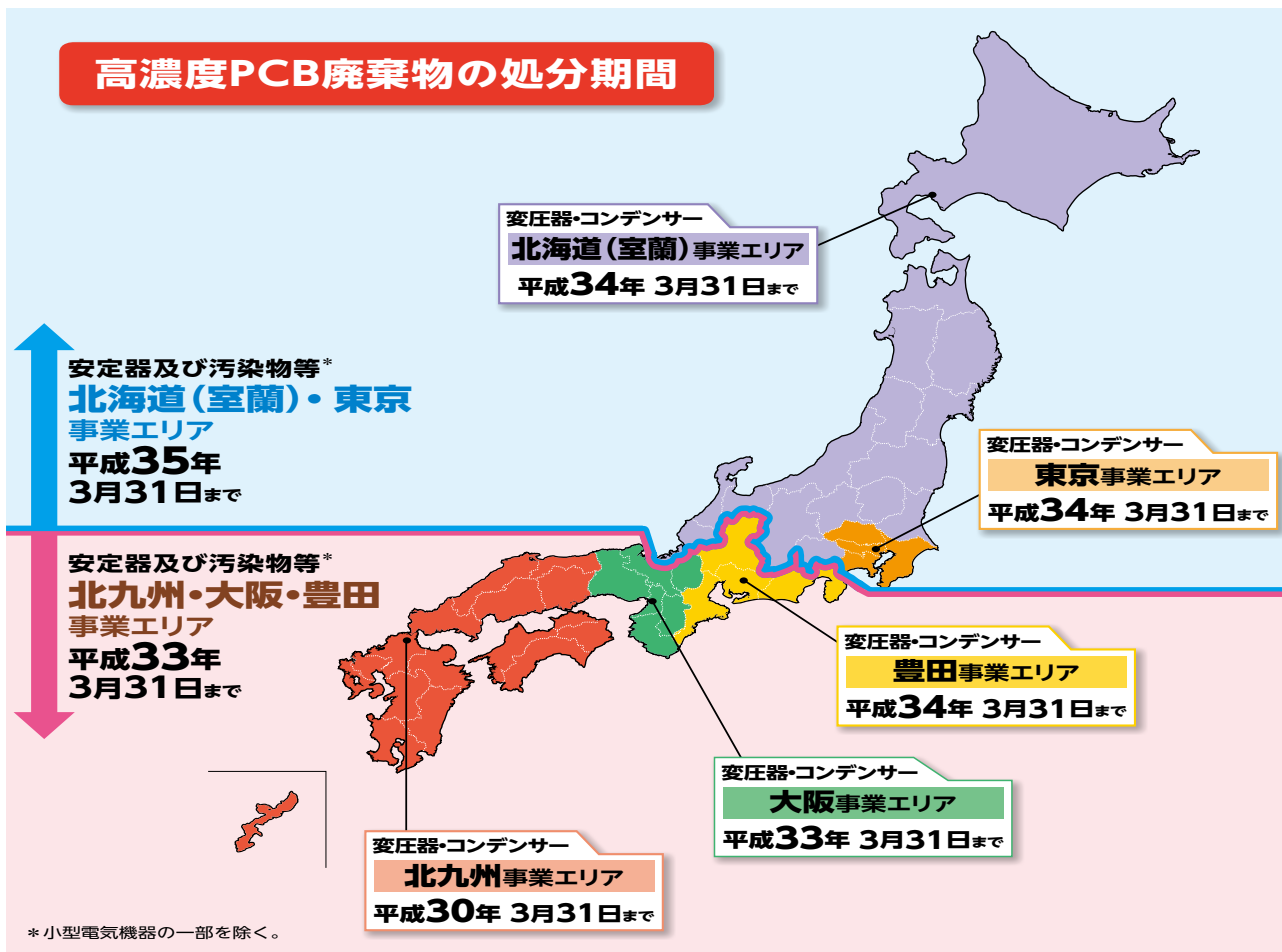
北九州事業エリアでの
変圧器コンデンサーの処分期限まで

平成28年11月16日で
残り500日

PCB廃棄物は定められた期限までに処分しなければなりません。

高濃度PCB廃棄物は、処分期間を過ぎると事実上処分することができなくなります。

高濃度PCB廃棄物の処分期間



都道府県市等が行うPCB廃棄物等の掘り起こし調査に御協力ください

現在都道府県市では、PCB 廃棄物を保有する蓋然性の高い事業者を対象にして未届出のPCB 廃棄物等の掘り起こし調査を実施しています。PCB 特措法の改正により、都道府県市による掘り起こし調査に関して、報告徴収や立入検査等の権限が強化されました。また、使用中の高濃度PCB 使用電気工作物についても、電気事業法の「主任技術者制度の解釈及び運用」が改正され、電気主任技術者等が毎年度高濃度PCB 使用電気工作物であるかを確認することが義務付けられました。安定器を含め、高濃度PCB が使用された電気機器や製品、廃棄物を保有していないかどうか、再度事業所内を確認するとともに、都道府県市や電気主任技術者等が行う掘り起こし調査に御協力ください。

水銀汚染防止法等に関する 説明会の開催について

平成25年10月に熊本市及び水俣市において「水俣条約に関する外交会議」が開催され、水銀に関する水俣条約（以下「条約」といいます。）の採択及び署名が行われました。条約では水銀の輸出入、製品への使用、環境への排出・放出、廃棄等のライフサイクル全体を管理する包括的な水銀対策が求められています。

条約の実施のため、平成27年に水銀による環境の汚染の防止に関する法律（平成27年法律第42号。以下「水銀汚染防止法」といいます。）が制定、公布されました。その後このほかの関連法令も整備されたことから、平成28年2月に日本も条約を締結しました。

この度、今後の水銀汚染防止法の施行に向けてご理解を深めていただくために、水銀汚染防止法に基づく措置の対象となる方々を主な対象とした説明会を開催します。

1 開催日時・場所

平成29年2月15日（水）14：00受付 14：30開会

岡山市北区奉還町1-7-7 オルガビル 地下1階 オルガホール

2 対象者と人数

水銀汚染防止法に基づく措置の対象となる者 等

（例：特定水銀使用製品を製造する者、水銀等を貯蔵する者、水銀含有再生資源を管理する者）

100名程度

3 申込み・問合せ先

説明会への参加は無料ですが、事前登録の必要があります。

下記アドレスから申込書（エクセルファイル）をダウンロードし、必要事項を記載し、説明会申込み用メールアドレスに送付してください。

<http://www.env.go.jp/press/103324.html>

※本説明会の事務は、環境省からの請負業務として、株式会社エックス都市研究所が担当いたします。

株式会社 エックス都市研究所

担当 西田孝史、末永遙己、阿南隆史、岡かおる

電話 03-5956-7517 FAX 03-5956-7523

説明会申込み用E-mail hguketsuke@exri.co.jp

晴れの国
おかやま

「第15回産業廃棄物と 環境を考える全国大会」 を終えて

平成28年11月11日、岡山市駅元町のホテルグランヴィア岡山で、「第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会」が開催されました。全国大会は、(公社)全国産業廃棄物連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団の3団体が主催する産業廃棄物業界の大会で、全国各ブロック持ち回りで開催されており、中国ブロックでは、前回広島県で開催したことから今回は岡山県が受けることとなりました。

全国から500余名の人が集まり、産業廃棄物に係わる様々な問題や課題について考え、発信する場となるこの大会を地元協会として盛り上げ、これを契機として、さらなる協会の組織拡大や事業充実等を図っていききたいという思いから、大会の運営支援と大会への参加について、役員及び事務局が中心となり準備・調整を進めました。

地元協会の大会運営スタッフは、正副会長、青年部会、事務局にお願いし、参加者は、地元協会です約100名、中国ブロック4県併せて100名をお願いしました。

大会当日は、「晴れの国おかやま」にふさわしい好天気にも恵まれました。

受付が開始されると次々と参加者が訪れ、主催者の予想を超える過去最大の参加者650名となりました。この要因の一つには、関連行事として前日開催された「全国産業廃棄物連合会青年部協議会第7回カンファレンス」や当日の午前中に開催された「関東地域協議会婦人部会e-Lady21のつどい(岡山)」の影響が大きかったのではなかと考えられます。

大会会場では、開会30分前から岡山観光DVDと青年部活動DVDを上映し、大会の雰囲気を盛り上げ、大入り満員での開会となりました。



開会式

主催者を代表し(公社)全国産業廃棄物連合会の石井会長の開会挨拶後に、来賓の環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課の中尾課長、続いて、岡山県の足羽副知事から祝辞をいただきました。



表彰式

環境大臣表彰を受賞された25名の表彰を行い、受賞者を代表して高知県協会の石元会長が謝辞を述べた後、同会場で記念写真を撮影しました。今年の大賞表彰では、中国ブロックの受賞者が一人もいなかったのが少し残念ですが、受賞された皆様おめでとうございます。

基調講演

環境省の中尾産業廃棄物課長が「廃棄物処理法の見直しについて」と題し、5年ごとの定期的な法点検の年に当たり、関係業界や関係団体等と協議しながら進めている見直し検討作業の概要報告がありました。

①廃棄物の適正処理の更なる推進

- 廃棄物の不適正な取扱いの未然防止策の強化
産業廃棄物の処理状況の透明性の向上、マニフェストの活用、排出事業者責任の徹底
- 廃棄物の不適正な取扱いに対する対応の強化
- 廃棄物処理における有害物質管理の在り方

②健全な資源循環の推進

- 廃棄物等の越境移動の適正化に向けた取組
- 優良な循環産業の更なる育成

優良産廃処理業者認定制度の見直し(優良認定業者の信頼性の向上と排出事業者に優先的に採択されるようにするための検討、優良認定業者に対する優遇措置等の検討)、優良な人材の育成、廃棄物処理業者の取引条件の改善

- 健全な再生利用・排出抑制等の推進に向けた取組

③その他

地球温暖化対策の強化、各種規制措置等の見直し、地方公共団体の運用、少子高齢化・人口減少社会を見据えた対応



パネル討論会

(一社)低炭素社会創出促進協会審議役兼事業評価部長の荒井眞一様をコーディネーターに招き、「産業廃棄物処理業界における低炭素化について」をテーマに、5名のパネリストにより事例発表や意見交換が行なわれました。

はじめに、荒井コーディネーターから、「京都議定書」に代わり「パリ協定」が採択され、2020年以降の温室効果ガス(CO₂、メタン)削減の新たな国際枠組みができ、日本では、2030年度に2013年度比で26%削減する中期目標を定め、低炭素社会の構築に向けた取り組みが進められており、当業界においても今後考えていかなければならない課題の一つである旨の背景説明があり、続いて、各パネリストから次のような話がありました。

①環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長 中尾 豊 (行政の立場)

産業廃棄物の排出実態、CO₂対策として廃棄物発電(熱回収)、燃料製造(RPF)、低燃費型の廃棄物収集運搬車両・処理施設の導入、メタン対策として最終処分量の削減、準好気性埋立の促進の話



②岡山県環境文化循環型社会推進課長 脇本 靖 (地方行政の立場)

岡山県内の排出実態、新エネルギービジョン、優良業者認定、岡山県廃棄物処理計画の話

③銘建工業株式会社バイオマス事業部長 坂本 規 (事業者の立場)

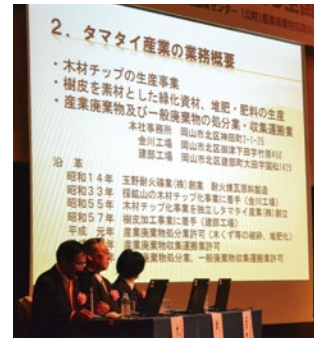
集成材事業、国産材製材事業における木質バイオマスエネルギー利活用、真庭市バイオマスタウン認定の話

④バイオディーゼル岡山株式会社 代表取締役社長 岸 政彦 (再生事業者の立場)

DOWAグループでのリサイクル・環境事業、岡山市との廃食用油再生事業の話。バイオディーゼル燃料の建設用重機等での利用促進をお願いしたい。

⑤タマタイ産業株式会社 代表取締役 大塚雅司 (処理業者の立場と業界団体の立場)

木材チップの生産、樹皮を素材とした緑化資材(マルチング材)、堆肥・肥料の生産、産業・一般廃棄物処理事業、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT) 認定の話。優良業者認定の推進が業界の低炭素化に繋がる。



交流会には約500名の参加者が集い、主催者を代表して(公財)日本産業廃棄物処理振興センターの岡澤理事長が開会挨拶した後、来賓として環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課の中尾課長、続いて、岡山市の大森市長から祝辞をいただきました。大森市長は、岡山市の魅力の一つとして、桃太郎と鬼は仲良かったという「温羅じゃ伝説」の秘話を紹介し歓迎の意を表しました。



続いて、地元の岡山県産業廃棄物協会の大塚会長が乾杯の発声を行い、歓談に入りました。交流会には岡山県協会から約75名が参加し、役員は全国大会用に作成した名刺を交換しながら、他県協会の参加者等との交流を深めました。

そして、閉会にあたり、次期開催ブロックの四国地域協議会の各県協会会長が壇上に上がり、次期開催県となる高知県協会の会長が代表して中締め挨拶を行いました。

こうして、長くて楽しい一日が、無事に終わりました。

このたび全国大会に参加していただいた100余名の会員の皆様、関連行事の青年部カンファレンスに参加いただいた25名の青年部会の皆様、e-Lady21のつどいに参加いただいた5名の女性会員の皆様、また全国大会に併せ、他県協会の視察研修会を受入れていただいた会員企業の皆様、そして運営スタッフとしてご協力いただいた皆様、大変お疲れ様でした。皆様の温かいご協力に心より感謝し、事業報告とさせていただきます。

～ありがとうございました。～

全国産業廃棄物連合会青年部協議会 第7回カンファレンス (in Okayama)

「今後のカンファレンスの在り方について」

平成28年11月10日、岡山プラザホテルで全国産業廃棄物連合会青年部協議会「第7回カンファレンス」が開催されました。

例年、カンファレンスは2月頃開催されますが、11月11日に岡山で第15回全国大会が開催されることから、この度はその関連行事として開催され、全国の都道府県から約150名の参加をいただき、開催地の岡山県産業廃棄物青年部会からは25名が参加するとともに、会議の運営に携わりました。



中国ブロック青年部協議会の大前会長の司会で開会し、岡山県青年部で全国青年部協議会の藏本副会長の開会宣言、全国青年部協議会の仲田会長の開会挨拶に続き、来賓としてご臨席いただいた岡山県環境文化部循環型社会推進課の脇本課長及び岡山県産業廃棄物協会の大塚会長から祝辞をいただきました。



会議はグループディスカッション形式で行われました。

「今後の全産連青年部に期待すること」をテーマに、災害時における県間・ブロック間の連絡をスムーズにするための仕組み作りや、最新の情報を全国に提供できるコミュニケーション作りなどについて、熱心に話し合いました。

そして、平成29年1月から運用を開始する全産連青年部コミュニケーションサイト「れん楽網」のシステム変更について説明があり、より簡単・スムーズとなったこのシステムにより、今後、コミュニケーション作りに取り組んでいくことを確認しました。

会議終了後の懇親会では、岡山県に古くから伝わる鬼神「温羅」の伝説を元にした「うらじゃ踊り」の歓迎セレモニーがあり、歓談に花を咲かせました。



女性部「e-Lady21のつどい」に参加して



日 時 平成28年11月11日11:00~13:00
 場 所 ホテルグランヴィア岡山 3階クリスタル
 主 催 関東地域協議会女性部
 参加者 (有)岡南美研 代表取締役 大北智子 様
 (有)新生産業 取締役 猪原美和 様
 (株)平松運輸 専務取締役 平松徳子 様
 エコシステム山陽(株) 有吉利枝 様
 エコシステムジャパン(株) 神原かをり様

感想記事ご紹介

(株)平松運輸 平松 徳子

平成28年11月11日岡山市で行われた、全国産業廃棄物協会の全国大会が無事成功に終わり、関係者の方々のご苦勞に敬意を表し、感謝するばかりです。ありがとうございます。

総会とは無縁でしたが、今回ありがたく? e-Lady21での事例発表の機会を与えていただき、学生以来の人前での発表という強ストレス下に置かれる毎日となりました。岩本事務局長さん、ありがとうございます。

「女性が生き生きと活躍する職場」という統一テーマでの発表でしたが、e-Lady21に参加されている女性の方々は、十分にその本領を発揮されている方々ばかりでしたので、正直、参加されている女性の方々の背中を見れば、自然とその職場の女性は活躍するに違いないと思いました。私がつぶれる心臓で発表しなくても、皆さんの背中でOKよ!!と。

冗談はさておき、この会の事例発表および協議での結論を申し上げます。
 女性を強き味方につけるための秘策は次の通りです。

- ①食べ物(安い高いは関係なく、話題性が必要)
- ②おしゃべりの認可(女性のおしゃべりは宇宙的なパワーを秘めている)
- ③ちょっと気になる子(セクハラ、パワハラはダメだけど…)

以上の3つで「女性が生き生きと活躍する職場」の出来上がりです。たぶん…。お試しください。

ということで、e-Lady21女性部とは、安倍首相が喜んでくださるだろう程の女性活躍の場でした。いつもの自分の職場とは違うパワーをもらえる、パワースポットでした。

エコシステム山陽(株) 有吉 利枝

~名刺の波と心地よいパワーとオーラの嵐~

この度は『e-Lady21のつどい』にはじめて参加し、DOWAグループの二社(エコシステム山陽(株)とエコシステムジャパン(株)岡山営業所)を皆さんにご紹介できるチャンスをいただき感謝しております。特に、エコシステム山陽につきましてはスピーチの中でもお話しすることが叶い、ありがとうございました。

今回『e-Lady21のつどい』の一員として参加させていただくまで、このような【女性だけの会】がある事を存じ上げず少し驚きました。産業廃棄物業界は【オトコの世界】という勝手な認識が強く、ホテルの会場に入り、借りてきたネコのように立ち尽くしていたのですがお一人の方が名刺交換に

来てくださった直後からは、もう溢れんばかりのパワーとオーラに圧倒される「時間の始まり、を感じました。次々と押し寄せてくる名刺の津波…お顔とお名前が…ああ一致しない〜と嘆く暇なく、これでもか!という程詰め込んできた名刺をせっせとお渡しするのが精一杯でした。『これは、気合い入れて行かんとヤバいなあ』が素直な感想。この中でスピーチ…もう出たとこ勝負!まな板の上のマグロ!!で行くしかない、開き直り 早々に覚悟を決めました。

無事にスピーチも終わり、グループディスカッションでは〈なぜこの業界で生きていく事になったのか…ある日突然社長(ご主人)を失い、社員全員が辞めていったマイナスの状況からの再出発〉について、お二人の経営者にお話を伺いました。おひとりの方はハッキリとした口調で「社員=家族」だとおっしゃいました。『だって、何も無くなって うまくいく保証もない自分を信じてついてきてくれて、お給料も払えない時期もあったのに、逆に励ましてくれた子達だからね。大事にしないとね〜。』と軽く笑い飛ばしていました。

女性がこの世界で生き残っていく苦勞や、女性がトップにいる会社だからこそ保たれている会社の明るく柔らかい雰囲気。一度どん底に叩き落とされ、這い上がってきたからこそその負けない思いで繋がる社員全体の結束力。その方は、こうも言われました。『良い時もあれば悪い時もある…私は景気が悪くて暇な時は社員を連れて遊びに行くの!しかも海外に…だって忙しい時には遊べないでしょ〜。暇な時に「頑張れ、って言っても無理。だから、私は忙しい時にしか「頑張れ〜、って言わない事にしてるよ〜。』とこれこそが女性独特の心意気や潔さ…。

女性経営者のその想いは、きっと男性に負けない「底デカラ、なのかもしれません。

その笑顔と明るさの裏にあるご苦勞は計り知れません。驚きと感動で、正直少し目が潤んでしまいました。

そして、自分のおかれている環境についてお話しをさせてもらい、色々なお話を聞かせていただいた事で【感心させられること・もっと良くなるかも】と考える良いキッカケをもらえた一日となり、とても勉強になりました。

もし又、この様な機会がいただけるなら 一緒させて欲しいなと思いました。是非!新たなパワーを注入していただきたいです!

たくさんの方々に本当にお世話になり、ありがとうございました。

エコシステムジャパン株式会社 西部営業部 神原 かをり

11月11日(金)午前11時より関東地域協議会女性部会主催による交流会「e-Lady21のつどい」がホテルグランヴィア岡山で開催されました。今回は、「社員が生き生き働くための仕掛け」というテーマで5人ずついくつかのテーブルにわかれてディスカッションをおこないました。

普段はなかなかお会いできないような立場の方々とお話をさせていただきました。この業界は男性中心職場という先入観をもっていました、たくさんの方が活躍していることに驚きました。また、仕事と家庭の両立、男性の育児休暇の取得しやすいように周囲の理解を深める努力、休憩時間の雑談や食事会を開催して悩み事がある人の相談にのり社員のメンタル面のフォローをするなど、親身になっている様子がよくわかりました。

その他、社員のスキルアップの為に勉強の機会をもうけたり資格報奨金を出したりして、仕事のモチベーションをあげる努力をされており、大変興味深いお話をお聞きでき、女性らしい細やかさが伝わりました。

私も現在の職場・環境に満足するのではなく、女性独自の意見をだしていき、いっそう女性が働きやすい職場・環境になるよう努力したいと思いました。

今後もこのような機会があれば、ぜひ参加をさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

平成28年度視察研修会に参加して

中野開発株式会社 中野 貞治

平成28年10月14日(金)から15日(土)にかけて視察研修会に参加しました。参加人数は30名で岡山駅からバスで出発しました。車内は空席の無い状態で、会員同士の交流にもつながりました。京都旅行は何度かした事が有るのですが、今回の視察、観光先は行ったことが無い場所が多いので楽しみにしていました。

サガミ京都八幡店で昼食を取り、最初の視察先サントリー山崎蒸溜所に入りました。

木々に囲まれた工場は外壁が煉瓦覆われていて、周りの景色にとけ込んでいます。又、大きい工場にもかかわらずすぐそばを流れる小川の水が美しく、環境に配慮されていることが分かります。ドラマの影響も有って工場見学のツアーは人気が高く参加人数にも制限が有りました。ツアースタート地点で案内スタッフから製造工程が分かるミニチュアを使った説明を受けた後、ツアースタートです。独特の甘い香りの中、スタッフの説明を聞きながら、仕込み・発酵・蒸溜・貯蔵(熟成)の工程を見学、ウイスキーは工程ごとに発酵槽・蒸溜釜・樽の使い分けで数多くの原酒が造られ、その原酒をブレンダーが調整して我々が目にするウイスキーが製造されている事が分かり、とても勉強になりました。また、製造工程で発生する廃棄物はほぼ全て飼料等へリサイクルされ環境に対する配慮についても説明も受けました。ツアーの最後には原酒を使ったテイスティング(試飲)を体験し原酒の繊細で奥深い香味を実感しました。





2件目の視察先は、京都紋付です。

荒川社長自らの案内で社内へ、先日テレビ取材の有った番組放送のDVDを見ながら事業概要の説明を受けました。紋付の需要が減少していく中で、先々代から受け継いだ他社よりも美しい黒が出せる技術『真黒』（しんくろ）、を生かし「BLACK WHY」というブランドを立ち上げ、アパレル業界へ進出。また、シミや色落ちで着られなくなった服を黒色に染め変える事業「PANDA BLACK」（WWFと連携）、等新しい事業に積極的に取り組まれていて、楽しみながら仕事をされているように感じました。ご参考までに、京都紋付で自分の服を黒に染めてみたい方は、全国に500店舗を展開する古着屋チェーンセカンドストリートでも受け付けています。

ホテルに移動して1日目は終了、夜は京懐石を頂きました。

2日目は京都市内の観光です。

まずは南禅寺。水路閣と呼ばれる煉瓦造りの水道橋がとても美しく、京都にこんな場所があるんだと驚かされ、紅葉の時期に是非来てみたいと思いました。お土産の漬物を購入して、七味作り体験をしました。薬味（金ゴマ、山椒、唐辛子等）を指示された割合ですり鉢の中に入れて基本となる七味を作ります。味見をして自分の好みに2種類の薬味を追加、瓶詰をしたらオリジナル七味の完成です。これも良い旅の思い出になりました。



バスに乗り込んで伏見稲荷へ。車中でバスガイドさんから三大稲荷の中に最上稲荷を入れるのは岡山の人だけと言われ、とてもショックでした。伏見稲荷での滞在時間は短かったのですが、しっかり商売繁盛祈願をして来ました。

見所の多い思い出に残る視察研修会でした。

最後に、素晴らしい研修を企画して下さいました事務局や大塚会長をはじめ、参加者の皆様、お忙しい中見学に御対応頂いた2社の方々に深く感謝致します。

岡山西
支部

岡山西支部・岡山中央支部 合同環境クリーン作戦

岡山中央
支部

実施日時 平成28年11月9日(水) 8:00~11:00
 実施場所 岡山市南区宮浦地内金甲山、貝殻山周辺
 参加人数 約100名(地元議員、行政職員、地元町内会、会員)

毎年各支部にて行われるクリーン作戦ですが、今年は岡山中央支部の実施月を変更して、岡山西支部と岡山中央支部の合同で岡山市南区金甲山及び貝殻山周辺の清掃活動を行いました。岡山中央支部としては昨年の天候不良が嘘のように今年は天候にも恵まれ、また多くの参加者(太田県議会議員、関係行政職員16名、岡山南警察署2名、地元町内会など約100名)にご参加頂きました。



作業に先立ち大塚会長より開会挨拶を頂き、作業手順を確認した後、両支部を金甲山方面と貝殻山方面に分けて作業を開始しました。

収集場所は山際ということもあり急勾配な箇所が多く、草木をかき分けての作業となりました。一見すると廃棄物などなさそうに見えるところでも少し斜面を下れば、廃家電など不法投棄された廃棄物を多く発見することが出来ました。



毎年西支部で実施されている場所というのもあり、大きな廃棄物は少ないと予測していましたが、廃タイヤが30本、金属くずと廃家電がそれぞれ2トン車1台ずつ、その他廃棄物が2トン車で3台と両支部ともに断独で開催していた時よりも多くの不法投棄を回収することが出来ました。また特に廃棄物が多く発見された箇所には、不法投棄防止を呼び掛ける立て看板を設置しました。



参加して下さった皆様のおかげで、仕分け場所には多くの廃棄物が集まり、岡山市職員の方々の指示のもと、分別作業もスムーズに実施することが出来ました。また2支部合同の実施ということで、多くの特殊車両(ヒアブ車など)をフル活用して円滑な収集、積み込みを実施することができました。

当日は事故やケガをされた方も無く、予定より早く全ての作業を終了することが出来ました。

ご参加下さった多くの皆様、本当にありがとうございました。これからも『不法投棄ゼロ』を目指して、岡山西支部、岡山中央支部にご協力を宜しくお願い致します。



東備
支部

環境クリーン作戦実施

実施日時 平成28年11月24日(木) 9:00～12:00
 実施場所 赤磐市殿谷 大倉団地内 3カ所
 参加人員 32名(県職員3名、赤磐市職員6名、支部会員23名)
 参加車両 1t貨物、2tフックロール、4t・6tヒアブ
 回収廃棄物 カン、ビン、冷蔵庫、テレビ等家電製品、タンス等の家具類、布団
 台所シンク、フライパン等台所用品、スレート、プレハブ小屋の残骸

ここ数年、クリーン作戦の日は、雨の予報が多く、今年も急に冷え込むようで、いい予報ではありませんでした。がやはり、東備支部の皆様の皆様の日頃の行いが良かったせいか、晴天でしかも、そんなに寒くは、なりませんでした。

今回の現場は、バブル時代に山林を切り開き、宅地用として、きっちり区画整理されたとても広い団地？でした。区画内は、ほとんど人の手が入ってないようでしたが、区画を仕切る為の道路は、アスファルト舗装されており、それなりの道幅もあり、乗用車や中型トラックでそんなに苦労することなく、目的地へ行くことができました。

道路が広く、しかも、急傾斜な場所でもなかったため、廃棄物の回収はとても、効率よく、スムーズに、安全に作業できました。裏を返せば、回収も効率良かったのですが、捨てる側もあまり苦労せず捨てているように思えました。結局、一番多くあった箇所は、まるごと家一軒分の投棄物があったようでした。3カ所合わせて約45㎡の廃棄物を回収し、各所に不法投棄防止の看板を設置、この日の作業を終えました。

なぜ、こんなところが、ゴミってる？



不法投棄が全く無くなることはありませんが、我々の地道な活動や啓蒙で、徐々に規模も小さくなり、不法投棄場所の数も少なくなっているように思えます。少しでも、不法投棄が減り、地域の方々が不快な思いをすることなく、快適な生活を送っていただけるよう、これからも活動し続けたいと思います。

毎回、会員の皆様にはご苦勞をかけますが、皆様の協力により、怪我もなく、無事作業を終えることが出来ました。

心より感謝申し上げます。今後ともご協力のほど、よろしくお願い致します。

倉敷

支部

第23回

倉敷地域環境クリーン作戦

実施日：平成28年11月16日水曜日

場所：市内浅原地区

参加者：37名 会員 33名

会員外 4名（地区町内会長、民生委員、環境衛生協議会役員）

看板設置：4カ所

今回の地域環境クリーン作戦の実施場所は山間の細い道沿で駐車スペース等がないため、山陽美業（株）倉敷事業所様の敷地をお借りして集合、2班へ別れての作業となりました。

今年は雨の心配もなく絶好の作業日和で、午前9時 室山支部長の挨拶、浅原地区町内会長 宇野様からねぎらいの言葉を頂戴し、作業説明の後作業開始。

投棄場所は、普通に車両で走っていたのではわからない場所で、茂みの中へ入ると、水槽、古タイヤ、茶碗、皿、コンクリート殻などが多量ではないものの多種の投棄物が有り、中でも走行中に投げ込まれたであろう、PETボトルや弁当殻等の可燃ごみが非常に多く有りました。

以前実施した箇所もあり、立て看板も設置してあったのですが???（残念）



地区関係者の方々と和やかな雰囲気での作業はスムーズに進み、回収ごみの分別作業を最後に午前11時、怪我もなく無事終了しました。

毎回ながら、会員の皆様のご協力に感謝いたします。



井笠

支部

井笠支部環境クリーン作戦 ~矢掛町内の山林の不法投棄物回収~

平成28年11月4日、矢掛町江良で環境クリーン作戦を行いました。

参加者は26名で、支部会員22名のほか県町の行政からも参加いただきました。

作業場所は山林2カ所で、冷蔵庫、テレビ、机、ソファ、タイヤなどが山の斜面捨てられていました。

大きな投棄物はロープを使って引き揚げ、約4tを回収し処分場に搬入しました。

撤去作業後は、再発防止の看板を立て投棄防止の啓発を行いました。

環境クリーン作戦にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今後もこの活動を続けていきたいと思っています。



備北
支部

環境クリーン作戦報告記

○高梁地域クリーン作戦

平成28年10月29日、今回のクリーン作戦も昨年に引き続き、高梁市主催の「環境フェア in たかはし2016」に合わせての高梁川流域のクリーン作戦でした。

高梁市・高梁市教育委員会・高梁市環境衛生協議会、岡山県内水面漁協同組合連合会、高梁川漁業協同組合、成羽川漁業協同組合、高梁川流域連名、市内の小学生などすべての人が参加しての作業で協会員併せて約200名での作業となりました。

今回も協会員は備北支部クリーン作戦用の青ジャンパーを着用での参加でした。

産廃協会員の参加者は8社19名と大勢の協会員に参加いただきました。

回収したゴミは写真のとおりです。

今回、主催者がカメラ付きドローンを使って作業風景を撮影していました。初めて実物のドローンを見ました。

今回は地域の人の協力のもと事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



○新見地域クリーン作戦

平成28年11月17日、今回のクリーン作戦も昨年に引き続き、新見市・新見市環境衛生協議会・新見市環境保全協会で新見市草間地内の高梁川流域のクリーン作戦でした。

参加人数は40名でそのうち協会員は8社10名でした。

ゴミは家庭のゴミが多く収集車両2台に一杯になりました。最初ゴミの状況を見たときは時間内にきれいに収集できるのか不安になりましたが大勢の人のお陰で2時間の作業時間の間に瞬く間に現場はきれいになりました。改めて大勢の人、俗に言う人海戦術でなんとかなるものだと実感しました。当日は天気も良くまた怪我もなく無事クリーン作戦が終了できました。



第22回 津山地区環境クリーン作戦

実施日時 平成28年11月15日(火) 8:30~12:00

実施場所 津山市一方地区

参加人数 101名(美作県民局5名、津山市11名、会員26名、地域住民59名)

回収量 計3.65t(可燃物、不燃物、家電、古タイヤ等)

今年の津山支部では環境クリーン作戦を津山市一方地区で行いました。2年前にこの地区で清掃を行った際には、広範囲ということもあり、山の半分しか清掃することができませんでした。そのため、今回の活動には「ようやく残りを綺麗に出来る」という強い思いを持って臨みました。当日は例年より多い100名を超える参加者が集まり、住民の皆様も不法投棄に対して熱い思いを持っているのだと感じることができました。

今回の場所は広範囲であることに加え、崖になっている危険な箇所もいくつかありました。そのため、あらかじめ範囲を分けしたり、はしごやユニック車を多めに配置したりするなど事前準備を周到に行いました。



不法投棄されたゴミは、可燃物や空き缶、空き瓶、家電製品など多岐にわたり、地層のように積まれていました。今年は特に廃タイヤが多くあり、これらは泥や木の根っこに絡まっていたためユニック車で吊り上げるのも一苦労しました。

この日は計3.65tを回収し、会員各社からご協力いただいたトラックやユニック車に載せ、12時頃に作業は終了しました。

残念ながら2年前に綺麗にした場所にも新しく不法投棄がされており、頑張ってもまた同じように捨てられていくのだろうか、我々の活動は無駄なのではないか、と悲しい気持ちになりました。しかし、終わった後に住民の方から「やっと綺麗になった!ありがとう」とお言葉を頂き、そんな気持ちも吹き飛びました。我々が行っている活動は無駄ではない!今後も不法投棄を無くすために活動を続けるぞ!という思いで看板を立て、今回の活動を終わりました。

最後になりますが、全てのゴミが決められた方法で適切に処分される日が来ることを強く望みます。

ご参加下さった皆様、ありがとうございました。



平成28年度青年部会視察研修会を開催する

平成28年11月22日、青年部会の日帰り県内視察研修会を行いました。
参加者13名が集まり、倉敷駅からバスで視察先へ向かいました。

視察先は、倉敷市水島工業地域JFEスチール内の水島エコワークス(株)。

水島エコワークスは、「倉敷市資源循環型廃棄物処理施設整備運営事業」を実施するための特別目的会社で、倉敷市の一般廃棄物等と、水島コンビナート企業や岡山県内の企業からの産業廃棄物を受け入れています。



「サーモセレクト方式」のガス化溶融処理システムにより再資源化を行うことで、資源循環型社会の実現に取り組んでいました。

水島エコワークス(株)の皆様、お忙しい中お世話になりありがとうございました。

その後、倉敷駅前で忘年会を開き、充実した一日を過ごしました。

青年部会 募集中

～ネットワークの構築・自己啓発・次世代の育成～

青年部会は、会員の相互交流を図りながら、今後の廃棄物処理事業を見据えた各種研修事業や環境学習等の広報啓発活動などに取り組んでいます。

現在の会員は約45名で年々減少傾向にあります。

対象は、協会会員及びその社員で、50歳以下の男女となっていますので、是非この機会に青年部会への入会をご検討ください。

お問合せは、協会事務局までお願いします。

会員企業の紹介コーナー

今回から、各支部の会員企業を紹介するコーナーを設けました。
第1回目は、岡山東支部会員のアサヒプリテック(株)岡山営業所様です。

会社名：アサヒプリテック株式会社岡山営業所 (アサヒホールディングスグループ会社)
住 所：岡山県岡山市東区金岡西町1157-1
代表者：営業所長 萬屋 純一
従業員：9名 TEL 086-948-4170 FAX 086-948-4182

弊社は、貴金属リサイクル事業、環境保全事業等に取り組んでいる会社で、1952年に創業を開始し、1964年に設立しました。貴金属・レアメタル製品のリサイクル事業を通じて社会に貢献し、みなさまの暮らしを豊かなものにするとともに、廃棄物処理のエキスパートとして、さまざまなニーズに応える環境保全事業を展開しています。

全国に事業所7ヶ所、営業所13ヶ所、研究所・計量証明事業所1ヶ所

岡山営業所では、貴金属リサイクル業務と産業廃棄物業務を行っています。

○貴金属リサイクル業務

各種事業者様からスクラップを回収、評価させていただき、金、銀、パラジウム等の貴金属のリサイクルを行っています。

○産業廃棄物業務

廃酸、廃アルカリの中和処理を行っています。収集運搬では、積み替え保管を行い各処理工場へ運搬し処理を行っています。

※産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業及び処分業許可とも、優良産廃処理業者認定を受けています。



適法、適正な処理で、環境保全に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

有害物質処理・廃棄物処理・リサイクル

産業廃棄物のトータルソリューションを提案・実施

試薬・薬品等
※不明物の分析、処理も可能です



廃油・汚泥等
※有害物の処理も可能です



廃酸・廃アルカリ
※有害物の処理も可能です



「平成29年度労働災害防止計画」の概要

産業廃棄物処理業界の安全衛生水準の向上のため、(公社)全国産業廃棄物連合会は平成29年度から3年間を期間とする労働災害防止計画を定め、全国の各都道府県協会等と連携を取りながら組織的に進めることとしました。

これを受け当協会では、岡山県内の労働災害の発生状況や会員の労働安全衛生活動アンケート調査結果を基に、平成31年における計画の目標及び各年度における活動目標・取り組み事項を定めた「労働災害防止計画」を策定することとし、このたび、平成29年度の計画を作成しました。

目標達成に向け、会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成31年における目標

- (1) 死亡者数をゼロにする。
- (2) 休業4日以上之死傷者数を平成25～27年の実績平均に比して20%以上減少する。(22.7人 → 18.1人以下)

(参考) 岡山県内の産業廃棄物処理業に係る労働災害死傷者数

区 分	平成25年	平成26年	平成27年
死亡者数	0人	0人	0人
休業4日以上之死傷者数	23人	24人	21人

平成29年度の活動目標

活動目標	28年度結果	29年度目標
(1) 会員企業における安全衛生活動のアンケート調査の回答数を増加する。(前年度比10%以上)	177社	195社以上
(2) 協会が実施する安全衛生事業を認知している会員企業を増加する。(前年度比20%以上)	123社	148社以上
(3) 全国産業廃棄物連合会が提供している安全衛生活動の支援ツールを認知している会員企業を増加装荷する。(前年度比20%以上)	50社	60社以上
(4) 法令に基づく安全衛生管理体制を構築している会員企業を増加する。(前年度比10%以上)	116社	128社以上
(5) 協会が実施する安全衛生研修会の参加人数を増加する。(前年度比10%以上)	34社	38名以上

(6) 安全衛生パトロールを実施している会員企業を増加する。(前年度比10%以上)	110社	121社以上
(7) ヒヤリ・ハット活動を実施している会員企業を増加する。(前年度比10%以上)	104社	115社以上
(8) リスクアセスメントを実施している会員企業を増加する。(前年度比10%以上)	74社	82社以上
(9) 安全衛生規程を作成している会員企業を増加する。(前年度比10%以上)	43社	48社以上

目標を達成するため平成29年度に取り組む事項

- ①協会が毎年実施する労働安全衛生活動アンケート調査に協力する。
- ②協会からの事業案内、協会の会報誌やホームページ等を通じ、協会が実施する労働安全衛生事業を知る。
- ③協会が実施する労働安全衛生研修会に参加する。
- ④協会が実施するヒヤリ・ハット事例調査に参加し、ヒヤリ・ハット活動を行う。
- ⑤連合会がホームページで提供している安全衛生活動支援情報を見て、やってみる。

「全国産業廃棄物連合会ホームページ」→「処理企業の方へ」→「安全衛生」

<http://www.zensanpairen.or.jp/disposal/07/index.html>

- ・産業廃棄物処理業ヒヤリハットデータベース
- ・産業廃棄物処理業におけるモデル安全衛生規程及び解説
- ・安全衛生規程作成支援ツール
- ・安全衛生チェックリスト(安全衛生パトロールの実施用)
- ・産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントマニュアル
- ・産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント～災害ゼロをめざして!!～
- ・リスクアセスメントの実施支援システム(厚生労働省サイトにリンク)

いずれも会員企業の皆様が取り組みやすい事項を盛り込みました。

平成29年度も、平成28年度と同様のアンケート調査を行いますので、目標達成に向け、各会員企業において労働安全衛生活動の取り組みをお願いいたします。

今から、できることから、やってみましょう♪

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

室山副会長が「平成28年度岡山県知事表彰」を受賞

平成28年12月18日、おかやまコンベンションセンター（ままかりフォーラム）において、平成28年度の岡山県知事表彰「環境おかやま大賞」の受賞式がありました。当協会からは、室山副会長（倉敷支部山陽美業（株））が、19年にわたる支部及び協会役員としての活動が評価され、循環型社会推進部門で受賞されました。当協会役員の県知事表彰は、藏本元会長、岡本前会長に続き3人目です。室山副会長、おめでとうございます。



平成28年度第2回目の中国地域協議会正副会長会議が開催

平成28年10月6日、鳥取県倉吉市で平成28年第2回の中国地域協議会正副会長会議が開催された。会議に先立ち、鳥取県東伯郡梨浜町の「燕趙園」を視察した。この庭園は平成7年に建設された日本で最大規模の中国庭園（皇帝庭園）で、地域の文化・振興に触れることができた。議事では、各県における会員確保の取組みや優良認定業者育成事業の実施状況、労働安全衛生活動の状況について意見交換した後、11月に岡山で開催される全国大会への参加について協議確認を行った。また、全国産業廃棄物連合会から、連合会名称の変更、当業界における振興策等について情報提供があった。

最後に、地域協議会事務局から、連合会が毎年ブロック持ち回りで開催している全国協会長会議が、平成29年度は中国ブロックに当たっているため開催県を協議したい旨の提案があり、協議した結果、広島県が受けることとなった。

鳥取県産業廃棄物協会へ災害見舞金を送る

平成28年10月21日発生した鳥取県中部地震で、倉吉市にある鳥取県産業廃棄物協会事務所が被害を受けたため、中国ブロックの4県協会で協議し、鳥取県協会に対し災害見舞金として各県から3万円を送りました。なお、事務局職員の皆様は全員無事でした。

新入会員紹介

クリーンエア（株）

代表取締役 枚田 智行

〒710-0837 倉敷市沖新町 61-6 2F
TEL.086-486-1369 FAX.086-486-1396
収集運搬業 倉敷支部

（株）アライエンス岡山

代表取締役 内海 紀之

〒702-8013 岡山市南区鮑浦 217-1
TEL.086-267-9550 FAX.086-267-9552
収集運搬業 岡山西支部

宿場町矢掛の大名行列



写真提供：矢掛商工会

江戸時代、参勤交代で往来する諸大名の宿場町として繁栄した、山陽道の矢掛宿。昔ながらの本陣・脇本陣も今なお旧姿をとどめています。毎年11月第二日曜日、その矢掛市街地を舞台に、往時の大名行列を再現されます。約80名で編成された、往時の姿そのままの絢爛豪華な大名行列が、「したに一、したに一」の声と共に街道を練り歩き、人々を江戸時代へとタイムスリップさせてくれます。

編集後記

今年は昨年よりもはやく寒い時期がやってきた気がします。

それに合わせてインフルエンザの流行もはやく、はやい予防対策の必要性を感じました。

私も今年はインフルエンザの流行がはやいと話を聞いていたので、11月中旬にいつもより早めにワクチンを打ちました。

インフルエンザ対策は万全です。

皆さんも日頃、疲れた体を年末年始でリフレッシュして良いお年を迎えてください。

(O.O)

会報・クリーン岡山 第55号

平成29年 1月31日 発行

発行 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

株式会社石原工務店

代表取締役 石原 孝

〒七〇四―八一―九三
岡山市東区金岡西町八〇―一―
電話 〇八六―九四二―五一一
FAX 〇八六―九四二―一五九五

内海産業株式会社

代表取締役 松本 俊成

〒七〇四―八一―九五
岡山市東区西大寺金岡一三三〇―五
電話 〇八六―九四八―二一三七
FAX 〇八六―九四八―四七六七

タマタイ産業株式会社

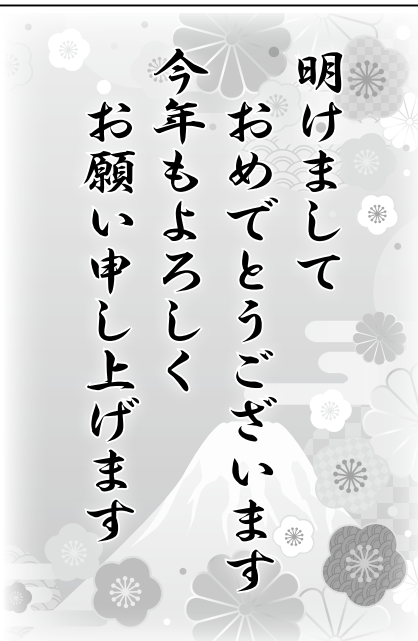
代表取締役 大塚 雅司

〒七〇〇―〇九三五
岡山市北区神田町二―一―二五
電話 〇八六―二三四―三二九一
FAX 〇八六―二二三―六三五四

明和建設株式会社

代表取締役 黒田 正義

〒七〇九―〇六三一
岡山市東区東平島一三九七
電話 〇八六―二九七―三七三七
FAX 〇八六―二九七―四七二二



牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中 三春

〒七〇一―四三〇―一
瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二
電話 〇八六九―三四―四九七八
FAX 〇八六九―三四―四一五五

日本エクスラン工業株式会社

取締役工場長 西田 良祐

〒七〇四―八五一―〇
岡山市東区金岡東町三―三―一
電話 〇八六―九四二―九八四〇
FAX 〇八六―九四二―九八五六

新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下 聖士

〒七〇二―一八〇―五
岡山市中区江崎七四六―三
電話 〇八六―二七六―一一一一
FAX 〇八六―二七六―二二六六

アサヒプリテック株式会社

代表取締役 東浦 知哉

〒七〇四―八一―九三
岡山市東区金岡西町一―五七―一
電話 〇八六―九四八―四一七〇
FAX 〇八六―九四八―四一八二

株式会社日本資源開発社

代表取締役 林 大悟

〒七〇九一〇六〇七
岡山市東区浦間一一〇二
電話 〇八六一二九七―二二二八
FAX 〇八六一二九七―二二二四

泉建設株式会社

代表取締役 泉 正昭

〒七〇二一八〇一三
岡山市南区飽浦一二六
電話 〇八六一二六七―五三三三
FAX 〇八六一二六七―五三三四

有限会社片岡久工務店

代表取締役 片岡 重治

〒七〇二一八〇三三
岡山市南区福富東二一七一―一三
電話 〇八六一二六三―二〇一〇
FAX 〇八六一二六三―二四六八

野崎産業株式会社

代表取締役 野崎 剛正

〒七〇四一八一九四
岡山市東区金岡東町二一四―三三
電話 〇八六一九四二―三六五一
FAX 〇八六一九四三―七九二七

ナカウン株式会社

代表取締役 井上 實

〒七〇三一八五八〇
岡山市中区倉富三四〇―一八
電話 〇八六一二七七―四一四〇
FAX 〇八六一二七六―五五六七

有限会社井上設備

代表取締役 井上 實

〒七〇二一八〇二四
岡山市南区浦安南町五八四―三
電話 〇八六一二六三―八七四五
FAX 〇八六一二六三―八四六四

株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎 文夫

〒七〇四一八一九四
岡山市東区金岡東町二一四―三三
電話 〇八六一九四二―三三八一
FAX 〇八六一九四三―七九二七

有限会社岡一総業

代表取締役 頼 礼

〒七〇三一八二六六
岡山市中区湊一三六三―一八
電話 〇八六一二七四―五七三九
FAX 〇八六一二七四―〇五八二

株式会社岡清組

代表取締役 藤井 武士

〒七〇〇一〇八六六
岡山市北区岡南町二一五―七
電話 〇八六一二三三―七二三〇
FAX 〇八六一二二六―〇一一三

栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英治

〒七〇〇一〇九四三

岡山市南区新福二一七―二〇

電話 ○八六―二六五―一二三四

FAX ○八六―二六五―七七二二

有限会社光南台土建

代表取締役 河野 成人

〒七〇二一八〇一四

岡山市南区宮浦二七九四

電話 ○八六―二六七―三〇七九

FAX ○八六―二六七―一五五〇

中野開発株式会社

代表取締役 中野 治

〒七〇一―二二四二

岡山市北区玉柏七五

電話 ○八六―二二九―二二一六

FAX ○八六―二二九―三二七五

岡山砒油株式会社

代表取締役 同前伸 一

〒七〇二一八〇四五

岡山市南区海岸通二一六―一三

電話 ○八六―二六四―六八六六

FAX ○八六―二六四―六八六七

藤クリーン株式会社

代表取締役 松田 一寿

〒七〇二一八〇四五

岡山市南区海岸通二一―四〇―一一

電話 ○八六―二六四―八七七五

FAX ○八六―二六四―八七九七

有限会社吉美

代表取締役 石原 恵一

〒七〇一―〇一六五

岡山市北区大内田一三六七―一

電話 ○八六―二九三―一〇五二

FAX ○八六―二九二―二〇二〇

株式会社西日本マックス

代表取締役 松田 次歳

〒七〇二一八〇一一

岡山市南区郡三〇〇〇

電話 ○八六―二六七―九九五五

FAX ○八六―二六七―九九七七

安田産業株式会社

代表取締役会長 安田 猛男

〒七〇二一八〇三六

岡山市南区三浜町一―一―一八

電話 ○八六―二六三―三〇六一

FAX ○八六―二六三―三〇二九

株式会社 西日本アチューマツトクリーン

代表取締役会長 藏本 忠男
代表取締役社長 藏本 悟

〒七〇三―八二四五

岡山市中区藤原五〇―一

電話 ○八六―二七二―八〇四二

FAX ○八六―二七一―一〇五〇

株式会社相和建設

代表取締役 光森敏文

〒七〇一―一五三
岡山市北区富原五一八―一
電話 ○八六―二五三―一〇〇〇
FAX ○八六―二五五―〇〇〇〇

日生運輸株式会社

代表取締役 伊賀資耕

〒七〇五―八五八
備前市伊里中五八八―一
電話 ○八六九―六七―二五五五
FAX ○八六九―六七―〇四六八

倉敷企業合資会社

有限責任社員 井上正士

〒七一〇―〇四六
倉敷市中央一―六一―二四
電話 ○八六―四二四―六四二九
FAX ○八六―四二一―九一九〇

株式会社研美社

代表取締役 奥山秀敏

〒七〇〇―〇九八
岡山市北区新屋敷町二―二―二〇
電話 ○八六―二四三―一五八五
FAX ○八六―二四三―一八六八

有限会社豊田建運

取締役 豊田真爾

〒七〇九―〇七〇
赤磐市沢原一五五―二
電話 ○八六―九九五―〇〇〇一
FAX ○八六―九九五―二二二二

山陽美業株式会社

代表取締役 室山晃一

〒七一〇―〇八二
倉敷市老松町二―一三―三〇
電話 ○八六―四三四―三五〇〇
FAX ○八六―四二二―一三三一

株式会社デベロップ岡山

代表取締役 田口睦青

〒七〇一―〇二二
岡山市南区中畦一―一八―三
電話 ○八六―二九八―三一二五
FAX ○八六―二九八―二九二七

妹尾産業有限公司

代表取締役 畑 貞夫
代表取締役 畑 英男

〒七〇一―〇二〇
岡山市南区箕島一三〇六一―二六
電話 ○八六―二八二―〇五二一
FAX ○八六―二八二―〇六四七

コーワン株式会社

代表取締役 寺尾俊郎

〒七〇五―〇〇二
備前市東片上五〇―一
電話 ○八六九―六四―三三三三
FAX ○八六九―六四―三三三六

株式会社フルカワ商事

代表取締役 古川悦生

〒七二一〇〇八三五
倉敷市四十瀬三四三—三
電話 〇八六—四二四—八〇二〇
FAX 〇八六—四二七—三六九九

株式会社高谷建設

代表取締役 高谷耕治

〒七二一〇〇九三六
倉敷市児島柳田町二三二六—四
電話 〇八六—四七三—三六二四
FAX 〇八六—四七二—六二七三

内田工業株式会社

代表取締役 内田航

〒七二一八〇五二
倉敷市松江三—二—四六
電話 〇八六—四五六—五八八八
FAX 〇八六—四五六—四五五二

協同組合 倉敷市環境保全協会

代表理事 金本護

〒七二一〇〇〇三八
倉敷市新田二三二二—一八
電話 〇八六—四二二—七三七一
FAX 〇八六—四二一—五四二七

有限会社幸福設備工業

代表取締役 佐野修

〒七二一〇〇二六一
倉敷市船穂町船穂九三六—三
電話 〇八六—五五二—三二六一
FAX 〇八六—五五二—三二六三

株式会社ビーシー工業

代表取締役 富本敬三

〒七二一八〇五一
倉敷市中畝九—二—三七
電話 〇八六—四五六—三四二一
FAX 〇八六—四五六—五八四三

水島エコーワークス株式会社

代表取締役 岸田修一

〒七二一八〇七四
倉敷市水島川崎通一—一四—五
電話 〇八六—四四七—三二五五
FAX 〇八六—四四七—三二五七

クリーンエア株式会社

代表取締役 枚田智行

〒七二一〇〇八三七
倉敷市沖新町六一—六—二F
電話 〇八六—四八六—一三六九
FAX 〇八六—四八六—一三九六

福栄産業株式会社

取締役 田中忍

〒七二一八〇五五
倉敷市南畝七—一—三三 福栄物流センター
電話 〇八六—四五六—七七七七
FAX 〇八六—四五六—一四二二

有限会社藤充建設工業

会長 藤原浩司

〒七二五―〇〇一九
井原市井原町三五五七―二九
電話 ○八六六―六二―〇七一二
FAX ○八六六―六二―〇三〇二

株式会社平松運輸

代表取締役 平松敬史

〒七二六―〇二〇七
高梁市川上町仁賀六二七
電話 ○八六六―四八―三五八八
FAX ○八六六―四八―三二六一

株式会社三美産業

代表取締役 妹尾芳訓

〒七二六―〇二〇三
高梁市川上町三沢四三四二―二
電話 ○八六六―四八―二八七八
FAX ○八六六―四八―二八七九

株式会社日住

代表取締役 高橋幸一

〒七一九―〇二五四
浅口市鴨方町六条院東五〇九
電話 ○八六五―四四―七八八八
FAX ○八六五―四四―六五二三



山陽興産株式会社

代表取締役 大本修身

〒七二六―〇〇四五
高梁市中原町一五四二―六
電話 ○八六六―二二―一〇三五
FAX ○八六六―二三―一三二六

株式会社アースクリエイト

代表取締役 三好員弘

〒七二四―一二二五
小田郡矢掛町中一七〇
電話 ○八六六―八二―三〇三一
FAX ○八六六―八二―三四〇〇

坂川建設鋳業株式会社

代表取締役 坂川晃一

〒七二四―一四〇五
井原市美星町字戸一〇五五
電話 ○八六六―八七―二六二六
FAX ○八六六―八七―二六二七

山陽環境開発株式会社

代表取締役 岩元博

〒七二八―〇〇〇三
新見市高尾二三〇四―一
電話 ○八六七―七二―五四一五
FAX ○八六七―七二―一七八〇

株式会社新岡山工業

代表取締役 田口 芳美

〒七〇八一―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原一〇八〇
電話 ○八六八―六二―二七七五
FAX ○八六八―六二―二七七六

株式会社廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八一―〇〇一三
津山市二宮八七〇
電話 ○八六八―二八―二〇五一
FAX ○八六八―二八―二二四八

末沢建設株式会社

代表取締役 末澤 由博

〒七〇八一―一二二六
津山市押入一二一九―七
電話 ○八六八―二六―一七三
FAX ○八六八―二六―一七二

エコシステムジャパン株式会社

代表取締役 石川 統一

〒七〇八一―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原一〇四八―二
電話 ○八六八―六二―一三四一
FAX ○八六八―六二―一三四〇

株式会社ユアック

代表取締役 赤本 裕

〒七〇八一―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原三九三―二
電話 ○八六八―六二―一五〇〇
FAX ○八六八―六二―一四七三

有限会社久米産業

代表取締役 有本 英輔

〒七〇八一―一五三四
久米郡美咲町藤原四六八―七
電話 ○八六八―六二―二二七五
FAX ○八六八―六二―二二七七

エコシステム山陽株式会社

代表取締役 寺門 洋

〒七〇八一―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原一―二二五
電話 ○八六八―六二―一三四六
FAX ○八六八―六二―一三四五

坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂 申洋

〒七〇九―三六三二
久米郡久米南町山手六四五
電話 ○八六―七二八―二八一
FAX ○八六―七二八―二四六〇


中国防災工業株式会社

代表取締役 原田 明彦

〒七〇八一―〇三一七
苫田郡鏡野町土居二四九―一
電話 ○八六八―五四―〇一三六
FAX ○八六八―五四―三三三二



リサイクルで地球を護る

 株式会社 田中商会

産業廃棄物処分業

産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物収集運搬

取締役社長 室山敏彦

1901年創業

エコアクション21

プライバシーマーク認証

〒710-0803 倉敷市中島1395

TEL 086-465-3050 FAX 086-465-3051

インターネットは物を選べない。きれいな服も、おいしい食材も、べんりな家電も、わたしたちの生活のあらゆる物は、倉庫からやって来る。今、この国に生きていて、倉庫に関係しない人はほとんどいない。しかし、倉庫の仕事で、キタナイ、キツイ、キケンと言う人がいる。そして残念ながら、キタナイ倉庫、キツイ作業、キケンな職場は、たしかにある。その状況を、変えようと思う。単なる見た目のきれいさではなく、機能美を持つ倉庫へと。倉庫が変われば、物流が変わる。キタナイをキレイに。キツイをラクに。キケンをアンゼンに。物流美という概念で、物流のすべてを変えていきたい。この国の物流を、あたらしく、うつくしく。TOYOTA L&Fから。

ニッポンの物流美

TOYOTA L&F

豊田自動販売機



新型1.0~3.5ton 電動フォークリフト

gene B

TOYOTA
L&F

トヨタ L & F 岡山 株式会社

岡山県岡山市北区久米160番地

TEL 086-241-5043



<http://toyota-lf-okayama.jp>